



逆境の不動産時代を生き抜くためのお役立ち情報便

レントライフ便りは、安定した賃貸経営を共に築いていくために、市場の動向・入居者のニーズ、レントライフの取組などを発信し、今に必要なのかを一緒に考えていける場にできればと思っております。皆様からの率直なご意見ご感想を心よりお待ちしております。

# レントライフ便り

レントライフの『賃貸オーナーサポート専門サイト』

[www.rentlife.co.jp/owner](http://www.rentlife.co.jp/owner)

編集発行

株式会社 **レントライフ**

本社 / 〒396-0015 長野県伊那市中央 4561-7  
TEL (0265) 77-2580 FAX (0265) 77-2581

レントライフ オーナー 検索



## 今回のお題目

■古アパート・古家対策 紙上レポート

負の資産をそのまま放置させないための対策を実例により紙上公開！

■預かりくんリフォーム実例紹介

個人住宅の古家を賃貸用住宅に有効活用

■連載エッセー

村上不二夫の面白こぼれ話

■賃貸経営

データで分かる勝ち残り策



今までも何度かお伝えしてきましたが、空き家が社会にもたらす影響は年々大きくなるばかりです。使わなくなつて放置せざるを得ない個人住宅、飽和状態の中でも建設され続けた結果、益々増えていく共同住宅の空き家、平成5年には448万戸だった空き家は、平成25年には820万戸となり、ただか20年でおよそ倍になつてしまいました。その中で別荘などの空き家はわずか8.7%で、残りの93%余りが、この個人用と共同住宅の空き家で占めています。また、共同住宅空き家は約430万戸と、すべての空き家なかで半数以上の比率になつていまます。人口が減つて行く中どうやって空き家を有効活用す

**古アパート・古家対策 紙上レポート**  
**負の資産をそのまま放置させないための対策を実例により紙上公開！**

るか、私共は今、真剣にこの問題に取り組んでいます。そこで今回のレントライフ便りでは、私共が実際に手がけた実例を基に、この空き家問題対処法を考えていこうと思います。まず、最初の実例は、レントライフが空き家対策で今、最も

- 本紙でご紹介する実例一覧
- **実例1の①(預かりくん実例)**  
古アパートを見事な決断で市場に蘇らせた長野市のオーナー様
  - **実例1の②(預かりくん実例)**  
典型的な空き家、個人住宅の有効活用と資産維持に成功した松本市のオーナー様
  - **実例2**  
スラム化が進む古アパートを売却することで難を逃れた売り逃げ、たらい回し作戦
  - **実例3**  
そのまま放置で子孫に負の資産を残してしまふ？
  - **実例4**  
DIY賃貸で、予算をかけずに借主に維持管理してもらう

ご用命・ご相談は、お気軽に各店にご連絡ください。

- 長野店 長野県長野市若宮2丁目13-3 TEL.026-254-5670
- 松本店 長野県松本市島立940-1 TEL.0263-40-5001
- 諏訪IC店 長野県茅野市ちの2767-2 TEL.0266-82-5101
- 伊那店 長野県伊那市中央4561-7 TEL.0265-77-2580
- 飯田店 長野県飯田市北方1157-2 TEL.0265-25-8050
- 横浜支店 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 TEL.045-470-3213
- 新横浜ショールーム フリーダイヤル0120-703-230
- 駒ヶ根物件展示場 長野県駒ヶ根市赤穂497-1170

▶ 続きが読みたい方はこちらから